

次代をはぐくむ 産業創造都市 まつうら

市報

Matsuura まつうら



市の花：つばき

2011
April

4

平成 23 年

No.64

■主な内容— Contents —

平成 23 年度当初予算……………	8 ~ 10
まつうら輝 (キラリ) 人……………	16
松浦の民話……………	18
Tomorrow —明日へのバトン—……………	28

ありがとう  松浦東高
— 62 年の歴史に幕 —

特集

ありがとう
僕らの学び舎…



特集

ありがとう 松浦東高

— 62年の歴史に幕 —

県立松浦東高等学校が平成23年3月で閉校となり、62年の歴史に幕を閉じました。今月号では、東高のこの1年の活動の様子や、3月6日に行われた最後の卒業証書授与式、閉校記念式典の様子などを紹介します。



校歌

吉原英俊 作詞
市川良治 作曲

紫紺に映ゆる山々と
八十島煙る松浦の
自然の教え究めつつ
高き理想を胸に秘め
心一つに励むもの
あゝ我が梶の学園
緑の丘陵の広がりにて
土の香薫る松浦の
自然の恵み活かしつつ
技と力を我がものと
明日の世界に伸びるもの
いざや掲げん梶の葉を
玄海の波濤永遠に
歴史は古き松浦の
伝統今に受け継ぎて
自由と真と知を求め
世界の平和につくすもの
あゝ梶の葉に栄光あれ

有終の美を飾った47人の卒業生

開校以来、4, 417人の生徒を送り出してきた松浦東高。東高生は有為の社会人となるための勉学に励む一方、長年にわたり、ぎぎが浜清掃や今福駅などへの花苗植栽、苗木の寄贈、今福保育所での食育活動や読み聞かせ、今福小学校児童と交流をするなどの活動を積極的に行ってきました。

最後の卒業生となる47人は、これまで先輩たちによって代々受け継がれてきた地域貢献の精神をしっかりと受け継いできました。

特にこの1年は、有終の美を飾るべく卒業生4, 417人全員の思いも胸に、地域への感謝の気持ちを込めて、これまでの活動に加え、地元飾りみこし「和一処」や地域との合同体育祭・合同文化祭などにも取り組みました。



1



5



4



2



3

【写真の説明】

1 平成22年10月、今福くんちで「和一処」を披露。**2** 5月、今福保育所との食育活動。**3** 7月、地域婦人部とぎぎが浜清掃。**4** 9月、今福小6年生とミニパウンドケーキ作り。**5** 平成23年2月、今福保育所で読み聞かせ。**6**、**7** 2月、今福駅舎改修。



7



6

朝から冷たい雨に打たれる東高の校舎、グラウンド、体育館。

3月6日午前10時、学校関係者、保護者、同窓生など約350人が見守る中、最後の卒業生となる47人が式場である体育館に入場しました。卒業生全員の左胸には同校教職員手作りコサージュ、右胸下には今福長寿会婦人部手作りのリボンが付けられていました。

卒業証書授与式では、小川琢次校長から食品科学科と商業科の代表者に卒業証書が授与されました。また小川校長は、式辞で「松浦東高の有終の美という大きな花を咲かせてくれました」と卒業生にはなむけの言葉を送りました。

卒業生代表挨拶では、生徒会長の川原忠貞君が「私たちが卒業するときは学校が終わるとき。この事実と向き合いながら、私たちは3年間多くのことを学んできました。私たちが成長したと胸を張って言えるのは先生や保護者、地域の方々のおかげだと感謝します」と学校、保護者、地域への謝意を述べました。



最後の卒業式

地域の人々の心に残る
「東高の有終の美」を飾った
47人の卒業式が、同校体育館で行われました。



Interview



生徒会長

川原 ただつぐ 忠貞 君 (食品科学科、18歳)

感謝の気持ちでいっぱいです

東高での3年間を振り返ってみると、日々の学校生活そのものが一番楽しかったなと思います。

支えてくださった先生方や地域の方々皆さんの応援があったからこそ、自分たちは今日この日を迎えることができました。卒業するに当たり、皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです。



地域とともに歩んできた東高 閉校記念式典などで別れを惜しむ

閉校に伴う卒業生を送る会

卒業式・閉校式の2日前の3月4日、東高体育館前には今福保育所園児、今福小5年生、今福長寿会連合会会員、今福町婦人会会員、同窓生など約150人が集まりました。

今福町の住民有志が、これまで東高生からたくさんのお元気をもらったとして、心から感謝と惜別の気持ちを含めて卒業生を祝福したいと同会実行委員会（田中守代表）を立ち上げ、地域住民に呼び掛けていたのです。

この日、東高生に今福保育所園児から手作りのメッセージカードが渡され、今福長寿会から手作りのリボンが東高生の胸に付けられました。また、東高の施設管理補助員として11年間東高とかかわってきた徳永立男さんが、卒業生47人全員にメッセージを送りました。

会の最後は、参加者全員が2人1組でアーチを作り、卒業生を送り出しました。



東高は、地域と身近にかかわり、そんな東高に感謝の気持ちを送りたいと地域住民も動きました。

田中 ^{まもる} 守 さん（今福・恵比須町、76歳）

**こんなに地域に浸透している高校は
ほかにはありません**

東高は今福町のシンボリック的存在でしたので、閉校することになってとても残念です。

東高生は、町内の行事の多くに協力してくれ、若い力を私たちに与えてくれました。東高生は、地域を発展させないといけないという思いが強かったように思います。こんなに地域に浸透している高校はほかにはないでしょうね。

Interview





閉校記念式典

卒業式後の閉校記念式典。小川校長が「本校とかかわった人の数だけ学校は残り続けます。本校がこの幸多き今福の地にあったことを皆さんの心に未永く残していただきたいと思います」と式辞を述べました。

そして、校旗が生徒会長の川原君から小川校長の手に渡され、その後小川校長の手から寺田隆士県教育長に返還されました。

校歌斉唱では、涙ぐむ同窓生や教職員の姿も見られました。

松浦東高等学校のあゆみ

- 昭和24年7月24日
・長崎県立北松高等学校今福分校
開校式・第1回入学式
- 昭和30年4月1日
・長崎県立北松農業高等学校今福分校と校名変更
- 昭和41年4月1日
・長崎県立松浦園芸高等学校として独立
- 平成4年4月1日
・長崎県立松浦東高等学校と校名変更
- 平成23年3月6日
・閉校記念式典開催

Interview

北松農業高等学校
今福分校
第9回卒業生

福村 ^{まさかつ}正勝さん
(宮崎県延岡市在住、
67歳)



本校の卒業生であることを 誇りに思います

在学中は陸上に打ち込みましたね。5000m 競技でインターハイ出場や国体での5位入賞を果たしたことなどが思い出されます。私の活動の原点は、この母校にあると思っています。

母校の規模が大きくなっていくにつれうれしく思っていたのですが、昨年、閉校の話を聞いて残念に思いました。今日は母校最後の日をこの場所で過ごしたく、延岡から駆け付けました。寂しいけれど、本校卒業生であることを誇りに思いますね。



松浦東高等学校
小川 琢次 校長

Interview

地域の方々にたくさんの思い出を
いただきました

東高は、これまで地域に根ざす学校づくりを目指してきました。地域の皆さまにご迷惑をお掛けした時期もありましたが、最後は山口和秀前校長の意思を引き継ぎ、教職員、生徒が一丸となって、地域に恩返しをする気持ちで取り組み、有終の美を飾ることができたと思います。

地域の方々に感謝の気持ちを持って取り組んだつもりが、逆に地域の方々にたくさんの思い出をいただきました。子どもたちは郷土の良さも分かったことでしょう。

閉校は残念ですが、いつまでも地域の方の心に東高を残していただければ幸いです。お世話になりました。

閉校記念演奏・
アトラクション

閉校記念式典の後、閉校記念演奏とアトラクションとして、村尾憲広さん（今福・仏坂）を中心とした同窓生による「僕らの学び舎」の演奏と、卒業生による「和一処」の披露がありました。

「和一処」演舞では、掛け声と大きな拍手が会場いっぱいに広がりました。東高生と教職員、同窓生、地域が一体となった演舞で、東高の最高のフィナーレを飾りました。



地域とともに歩んできた東高。62年の歴史はここで終わります。しかし、それぞれの心の中に東高との思い出がある限り、いつまでも東高はそれぞれの心の中で輝き続けることでしょう。

— ありがとう。

松浦東高等学校

市民生活・地域経済を支え 産業創造都市を実現するための予算

持続可能な発展を図れるよう
将来を見据えた堅実な財政運営に向けて

概要

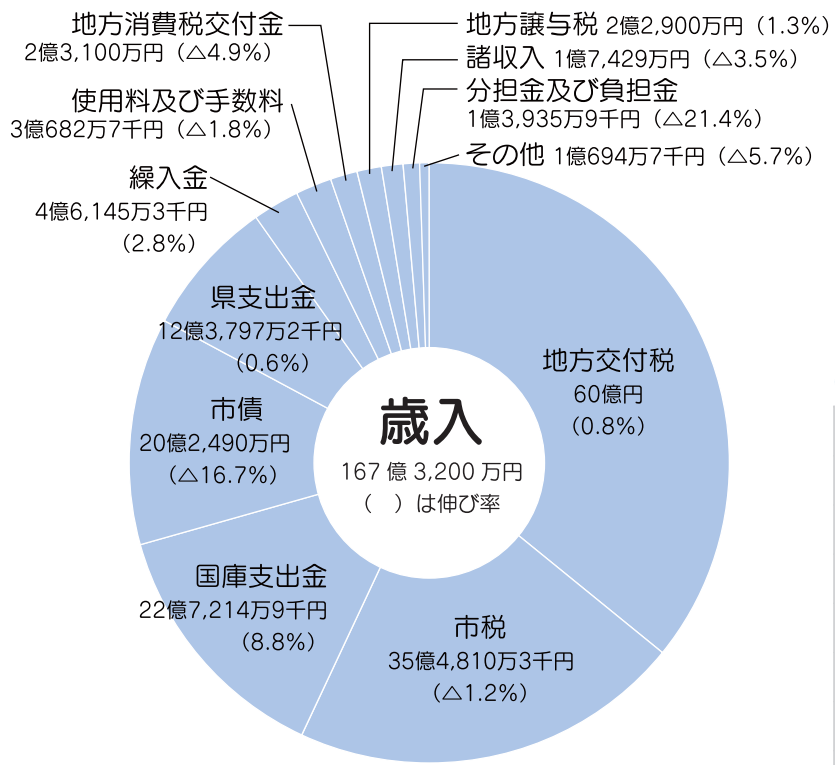
平成23年度の当初予算は167億3,200万円であり、前年度一般会計当初予算が骨格予算を編成したことから6月補正予算後の金額と比較すると、2億6,258万1千円(1.5%)の減少となっております(以下、前年度予算と比較する場合は、平成22年6月補正後の予算と比較し記載しております)。

平成23年度の当初予算編成では、経済の低成長による景気への影響などにより、歳入の大幅な増加は期待できない厳しい財政状況のなか、歳出面では、社会保障関連経費の自然増をはじめ、救急医療体制の整備や消防署の単独運営など、多くの財源を必要とする課題が山積みであり、中長期的な視点に立ち、持続可能な発展を図れるよう将来を見据えた堅実な財政運営を行うことを念頭に、産業創造都市の実現に向け必要となる事業について、予算計上しております。

歳入 市税収入が減少

歳入の内訳では、地方交付税60億円(前年度比0.8%増)、市税35億4,810万3千円(同1.2%減)、国庫支出金22億7,214万9千円(同8.8%増)、市債20億2,490万円(同16.7%減)の順となります。

市税収入は、前年度予算と比べて、4,491万円の減少を見込んでいます。これは、市民税(個人法人とも)の減が主な要因です。地方交付税は、国において対前年度比で4,799億円増額確保されたことから、対前年度比5,000万円増で計上しています。国庫支出金の増加は、民生費・教育費の負担金が主な要因です。市債は、合併市町



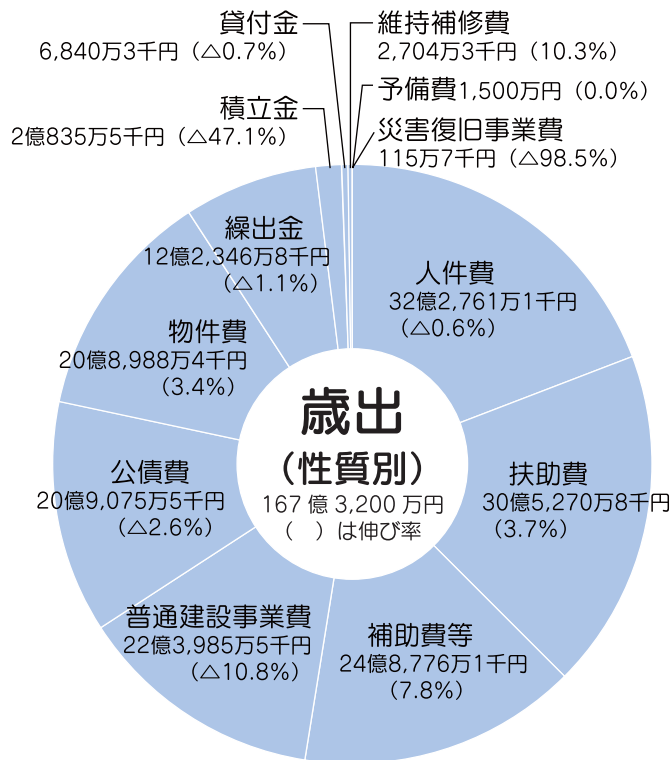
市税収入の内訳 (単位: 千円、%)

市税	23年度予算	構成比	伸び率
市民税	748,468	21.1	△8.4
固定資産税	2,597,532	73.2	0.9
軽自動車税	62,493	1.8	1.8
市たばこ税	138,000	3.9	△0.7
都市計画税	50	0.0	0.0
入湯税	1,560	0.0	160.0
合計	3,548,103	100.0	△1.2

※伸び率は、平成22年度当初予算が骨格予算を編成したため6月補正後の予算と比較しています。

●歳出（目的別）（単位：千円、%）

予算科目	23 年度予算	構成比	伸び率
民生費	5,062,410	30.3	4.7
総務費	2,125,032	12.7	△ 12.2
公債費	2,090,755	12.5	△ 2.6
衛生費	1,814,835	10.8	2.9
教育費	1,713,041	10.2	△ 22.7
農林水産業費	1,152,550	6.9	7.8
土木費	1,118,117	6.7	7.5
消防費	846,738	5.1	2.6
商工費	343,965	2.1	21.1
議会費	206,770	1.2	24.5
災害復旧費	1,157	0.0	△ 98.5
その他	256,630	1.5	65.3
歳出合計	16,732,000	100.0	△ 1.5



※伸び率は、平成 22 年度当初予算が骨格予算を編成したため 6 月補正後の予算と比較しています。

間の地域格差のない均衡ある発展や、より利便性の高い行政サービスの提供を実現し、さらなる一体感を高めていくための事業に合併特例事業債や新しい過疎地域自立促進特別措置法による過疎対策事業債を主に充てることとしています。

歳出の内訳 (性質別) では、人件費 32 億 2,761 万 1 千円 (前年度比 0.6% 減)、扶助費 30 億 5,270 万 8 千円 (同 3.7% 増)、補助費等 24 億 8,776 万 1 千円 (同 7.8% 増)、普通建設事業費 22 億 3,985 万 5 千円 (同 10.8% 減)、公債費 20 億 9,075 万 5 千円 (同 2.6% 減)、物件費 20 億 8,988 万 4 千円 (同 3.4% 増) の順となっています。

扶助費の増加は、昨年 4 月から始まった子ども手当の支給や、今年 4 月から県下統一して乳幼児医療費の現物給付が開始されること、また、本市独自の施策として昨年 10 月から実施している子ども医療費の拡充など、子育て支援の充実を図っているためです。

補助費等が増加した原因は、農林水産関係や地域活性化、定住促進支援に係る負担金や補助金などの増加が主な原因です。

普通建設事業費は、御厨小学校の改築が完了したことなどにより減少しています。

また目的別には、障害者・児童・老人等福祉費や生活保護費などを支出する民生費が 50 億 6,241 万円、総務費が 21 億 2,503 万 2 千円、過去に借り入れた市債の返済を行う公債費 20 億 9,075 万 5 千円、衛生費が 18 億 1,483 万 5 千円の順となっています。

用語の説明

- ▼市債：各種事業を行うために借り入れるお金（合併特例事業債、過疎対策事業債など）。
- ▼扶助費：生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法などの法令に基づいて支出する経費。また、地方自治体独自の支出も含まれます。
- ▼公債費：各種事業を行うために借り入れたお金を返済する経費。
- ▼物件費：各種事業を行うために支出する消費的経費のうち、比較的性質のはっきりした人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外のさまざまな経費の総称。

主な事業

【一般会計】

○定住促進支援事業 2,381万円

○元気なまちづくり活動支援事業 1,800万円

○住民生活に光をそそぐ交付金事業 4,098万円

○予防接種事業 5,009万円

○医療費助成事業 4,670万円

○救医療体制運営事業 4,047万円

○緊急雇用創出事業 1億1,946万3千円

○ふるさと雇用再生事業 5,478万1千円

○ながさき鳥獣被害防止総合対策事業 4,920万円

○母つし増頭事業 7,045万1千円

○街路事業 3億9,951万6千円

○防災行政無線統合事業 2億4,922万3千円

○東部交流センター建設事業 2億3,170万1千円

【特別・企業会計】

○公共下水道整備事業 1億8,254万6千円

特別会計

(単位：千円、%)

会計名称	23年度予算	伸び率
青島診療所事業	41,145	0.3
鉱害復旧灌漑用水施設維持管理事業	18,841	△ 9.7
国民健康保険	3,310,173	△ 2.8
老人保健	0	皆減
後期高齢者医療	239,271	△ 6.9
介護保険（保険事業勘定）	2,386,138	0.7
介護保険（サービス事業勘定）	16,424	3.8
簡易水道事業	330,509	△ 5.5
福島診療所事業	317,341	△ 1.7
鷹島診療所事業	178,672	△ 4.7
下水道事業	129,084	△ 7.7
松浦魚市場	240,068	106.5
臨海土地造成事業	35,068	1.8
工業団地造成事業	6,354	34.2

企業会計

(単位：千円、%)

会計名称	23年度予算	伸び率
水道事業	収益的 収入	330,987 △ 3.5
	収益的 支出	338,289 △ 1.2
	資本的 収入	30,638 △ 18.8
	資本的 支出	153,802 1.7
工業用水道事業	収益的 収入	166,602 0.3
	収益的 支出	168,817 2.5
	資本的 収入	0 -
	資本的 支出	6,400 156.0
診療所事業	収益的 収入	411,102 △ 31.9
	収益的 支出	440,065 △ 25.9
	資本的 収入	5,293 0.0
	資本的 支出	114,247 21.5
下水道事業	収益的 収入	137,368 3.6
	収益的 支出	218,898 2.3
	資本的 収入	208,263 2.9
	資本的 支出	210,333 2.2
交通事業	収益的 収入	29,927 17.2
	収益的 支出	29,927 17.2
	資本的 収入	0 -
	資本的 支出	0 -

松浦市民1人当たりの歳入歳出 (単位：円)

歳入	23年度	22年度
地方交付税	232,405	230,468
市税	137,433	139,172
国庫支出金	88,010	80,911
市債	78,433	94,124
県支出金	47,952	47,684
繰入金	17,874	17,384
使用料及び手数料	11,885	12,107
地方消費税交付金	8,947	9,412
地方譲与税	8,870	8,754
諸収入	6,751	6,998
分担金及び負担金	5,398	6,864
その他	4,142	4,393
歳入合計	648,100	658,271

歳出	23年度	22年度
人件費	125,019	125,784
扶助費	118,244	114,070
補助費等	96,361	89,370
公債費	80,984	83,163
物件費	80,950	78,282
普通建設事業費	86,759	97,278
繰出金	47,390	47,897
積立金	8,070	15,249
貸付金	2,650	2,669
維持補修費	1,047	950
予備費	581	581
災害復旧事業費	45	2,978
歳出合計	648,100	658,271

※人口は、平成 23 年 2 月末日の住民基本台帳人口 25,817 人を用いています。

○問合せ先 総務課財政係

受賞おめでとうございます

特別教育功労者表彰



上松シズエさん
 (今福・仏坂、82)

上松さんは、多年にわたり郷土の女性の地位向上や婦人会の発展に努め、本県社会教育に大きな貢献されたとして、県教育委員会から表彰されたものです。

九州地区体育指導委員功労者表彰



井手ケイ子さん
 (御厨・前田、60)

松浦市体育指導委員に就任以来、現在まで松浦市体育指導委員協議会の活動の充実および生涯スポーツの普及発展に多大な貢献をされています。

また、同会女性委員長としてリーダー的存在でもあり、若手女性委員の育成にも力を注ぎ、研修会などにも率先して参加し、平成13年度から始まった出前講座などでもニュースポーツを積極的に導入するなど、市民の健康増進・生涯スポーツの振興にも大きく貢献されています。

このような活動が評価され、九州地区体育指導員協議会から表彰されたものです。

坂口寛さんの写真「棚田夕映」が最優秀賞

—松浦観光写真コンテスト—

第21回松浦市観光写真コンテスト(松浦市観光協会主催)の審査が3月9日、市役所で行われ、上位の作品が決定しました。

今回は「松浦らしい情景(食・味覚などをイメージするもの含む)」をテーマに市内外から26人116点の応募があり、同協会の小松英史会長や会員で審査を行いました。上位の作品は次の通りです(敬称略)。入賞作品は、4月下旬まで市役所ロビーに展示します。

【最優秀賞】

・「棚田夕映」 坂口 寛(今福・人柱)

【優秀賞】

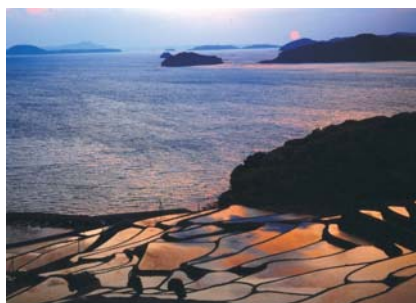
・「夕映えの棚田」 鈴木寛太郎(佐世保市)
 ・「大漁 パレード」 吉田八郎(佐世保市)

【入選】

・「春爛漫」 横山善久(佐々町)
 ・「精霊流し」 深水教子(志佐・丹花)
 ・「元寇の島の春」 石田博之(御厨・池田)



▲【最優秀賞】「棚田夕映」坂口 寛



▲【優秀賞】「夕映えの棚田」鈴木寛太郎



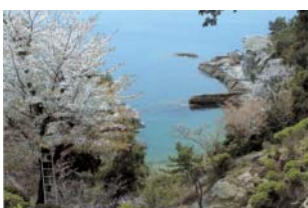
▲【優秀賞】「大漁 パレード」吉田八郎



▲【入選】「春爛漫」横山善久



▲【入選】「精霊流し」深水教子



▲【入選】「元寇の島の春」石田博之

明日に向かってキックオフ

松浦ロータリークラブ

第9回松浦ロータリークラブ杯少年フットサル大会が2月20日、志佐小学校グラウンドで開催されました。

同大会は、松浦ロータリークラブ(犬養義一会長)がスポーツを通じて地域の青少年が触れ合うことで、健全な育成を図ることなどを目的に開催しているものです。この日は、市内のフットサルチーム4チームから58人の小学生が参加。普段試合に出られない小学3年生以下も出場し、楽しみながら熱戦を繰り広げました。成績は次の通りです。

【U-12の部】

- ①志佐B
- ②志佐A
- ③御厨FC

【U-10の部】

- ①志佐A
- ②青島FC
- ③松浦IT



日本の伝統音楽に触れる

菊の会

菊の会(菊雅楽(山本)孝子主宰)による日本の伝統音楽入門と和の演奏会が2月24日、青島小中学校で行われました。

この体験学習と演奏会は、日本の伝統音楽の普及と、子どもたちに日本の伝統音楽を継承する心を芽生えさせることなどを目的に行われているものです。

この日は、同小の児童7人が2班に分かれ、箏と尺八を体験。午後には中学生、保育園年長児、保護者、地域の人も集まり、演奏会が行われました。体験を終えた同小6年生の羽戸和香菜さんは「きれいな音がして名人になった気分になりました。左手を箏の上に置くことなどが難しかったけど、またやってみたいです」と話していました。



まちの話題

Matsuura City Topics

市内の子どもたちも劇を熱演

ココロねっこ運動オリジナル劇

ココロねっこ運動オリジナル劇「ココロのそばに～ココロと仲間の大冒険～」公演が2月19日、文化会館で行われました。

この劇は、ココロねっこ運動の一環で行われたもの。同運動は、大人みんなで子どもを育てる県民運動として始まり、今年10年目を迎えました。

劇には、事前に応募した市内の子どもたち9人も参加。劇の中で重要な役の一つ「根っこの兵隊」役を見事に演じ、劇の最後に出演者全員でオリジナルテーマ曲や虹色のアーチを合唱すると、観客からは大きな拍手が送られていました。



新しい松浦のスイーツはいかが？

松浦お3時プロジェクト

松浦市の特産品であるマーコットを素材とした新スイーツの販売が2月20日、市内6つの菓子店舗でスタートしました。

このスイーツは、地元の農産物を使って本市を代表するお菓子を作りたいと発足した「松浦お3時プロジェクト実行委員会(川野賢三委員長)」が2年前から研究してきたものです。同委員会の第1弾マーコット編として考案された16種類の新スイーツの発売初日には、市内外から応募した25人の子ども店長が各店舗に分かれ、発売のお手伝いをしました。販売店舗やスイーツなどの情報は、市商工課、松浦商工会議所などでご確認ください。





たすきをつなぎ、「じえい」が優勝

― 第6回松浦市民駅伝大会 ―

第6回松浦市民駅伝大会が2月27日、御厨町のじげもん市場前をスタートし、今福小学校前をゴールとする8区間、23・8^{キロ}のコースで行われました。大会には、一般の部に33チーム、高校の部に2チーム、中学の部に4チームが参加。選手たちは、沿道からの声援を受けながら健脚を競いました。結果は次の通りです（記録は3位まで、敬称略）。

〔一般の部〕

〈総合成績〉

- ① じえい 1時間20分49秒
- ② 松浦市消防署 1時間22分34秒
- ③ アリガトウ 1時間25分00秒
- ④ 小船クラブ
- ⑤ 中興化成

〈区間賞〉青字は区間新

- ▽1区 (3・3^{キロ}) 吉松 亮 (じえい) 10分32秒
- ▽2区 (3・8^{キロ}) 岡本善博 (じえい) 12分01秒
- ▽3区 (3・7^{キロ}) 松尾隆博 (アリガトウ) 12分16秒
- ▽4区 (3・2^{キロ}) 浦辺俊博 (松浦市消防署)
- ▽5区 (3・4^{キロ}) 今 夏樹 (じえい) 11分19秒
- ▽6区 (1・9^{キロ}) 三井庄太 (アリガトウ) 6分52秒

〔高校の部〕

〈総合成績〉

- ① 松浦高校A 1時間12分51秒
- ② 松浦高校B 1時間14分05秒

〈区間記録〉

- ▽1区 (3・3^{キロ}) 澤田 錬 (松浦高校B) 9分33秒
- ▽2区 (3・8^{キロ}) 谷口竣平 (松浦高校A) 10分54秒
- ▽3区 (3・7^{キロ}) 白石海斗 (松浦高校A) 11分33秒
- ▽4区 (3・2^{キロ}) 千北喬之 (松浦高校B) 9分38秒
- ▽5区 (3・4^{キロ}) 坂本竜平 (松浦高校A) 10分10秒
- ▽6区 (1・9^{キロ}) 市山陽香 (松浦高校B) 7分10秒
- ▽7区 (2・8^{キロ}) 中山公仁 (松浦高校A) 8分27秒
- ▽8区 (1・7^{キロ}) 久枝大寛 (松浦高校B) 4分29秒

〔中学の部〕

〈総合成績〉

- ① 今福中学校駅伝部 1時間21分13秒

- ▽7区 (2・8^{キロ}) 長谷川拓也 (御厨小学校PTA) 10分17秒
- ▽8区 (1・7^{キロ}) 松尾靖之 (松浦市消防署) 5分03秒

松下 立 (志佐中学校駅伝部)

- ▽1区 (3・3^{キロ}) 10分17秒

宮本仁徳 (今福中学校駅伝部)

- ▽2区 (3・8^{キロ}) 11分59秒

田中大巳 (今福中学校駅伝部)

- ▽3区 (3・7^{キロ}) 13分16秒

岡村 周 (御厨中学校陸上部)

- ▽4区 (3・2^{キロ}) 10分49秒

市山和也 (志佐中学校駅伝部)

- ▽5区 (3・4^{キロ}) 11分30秒

今村光陽 (志佐中学校駅伝部)

- ▽6区 (1・9^{キロ}) 7分06秒

前田寛大 (志佐中学校駅伝部)

- ▽7区 (2・8^{キロ}) 9分39秒

森 隆磨 (志佐中学校駅伝部)

- ▽8区 (1・7^{キロ}) 5分07秒

災害時に備えて炊き出し訓練

松浦市地域婦人会連絡協議会

松浦市地域婦人会連絡協議会（榎元あや子会長）が3月2日、災害時の炊き出し訓練や応急的な手当ての方法を学びました。

日本赤十字社長崎県支部が主催したもので、同協議会会員約40人が参加。会員は佐世保市赤十字奉仕団委員からの指導を受けながら、特殊な袋（ハイゼックス袋）を使った、簡単にできる炊飯方法で実際にご飯を炊きました。

榎元会長は「災害はいつ起こるかわかりません。今回の訓練は、家族、地域にためになる意義ある訓練でした」と話していました。



アルミ缶回収金で車いすなどを寄贈

市内全中学校

市内の7つの中学校が3月4日、市福島保健センターや老人福祉施設など福島町内にある4つの施設に車いす2台と歩行器2台を寄贈しました。

市内全中学校では、毎年協力してアルミ缶を回収。その収益金で市内の施設に寄付を行っており、今年も7校で1,770*のアルミ缶を回収しました。この日、福島中学校と志佐中学校の生徒代表が、市福島保健センターを訪れ、各学校のアルミ缶回収の活動成果を紹介し、車いすと歩行器を市職員に手渡しました。



卒業記念に壁画を作成

池田寿禄会・御厨小学校

御厨小学校（中田順子校長）6年生が3月1日、御厨町池田地区の遊歩道沿いの防波堤に卒業記念の壁画を作成しました。

壁画は、御厨小学校と池田寿禄会（小橋川時雄会長）が協力して始めたもので、今年で11年目。この日は、クラスみんなで考えた下絵を基に、高さ約1m、幅約3mの壁画を作成しました。壁画には、明るさ、元気の良さ、仲の良さを表現し、新校舎やひまわり学級の取り組みにちなんでヒマワリの花を描きました。

実行委員の川村亜由美さん、村田美玖さん、金井田結莉加さんは「下絵が全部入らず残念だったけど、楽しい良い思い出になりました」と話していました。



パレードで火災予防をPR

防火パレード

全国一斉「春の火災予防運動（3月1日～7日）」の一環の防火パレードが3月1日、市内全域で行われ、消防団員などが火災予防を呼び掛けました。

この日、調川保育所（梅崎正博所長）前では、同保育所園児たち約30人がパレードを出迎え、消防団員の指導を受けながら「ライターを触ったらダメダメ！」と宣言。「ぼくたちわたしたちは、絶対火遊びはしません」と声をそろえて約束しました。

消防団員たちは、市内をパレードしながら、保育所などで風船を配り、防火を呼び掛けました。



35 団体がグラウンドゴルフで親睦

親善グラウンドゴルフ大会

松浦市社会福祉協議会主催の第5回親善グラウンドゴルフ大会が3月8日、市民運動公園で開催されました。

同大会は、市民の健康増進、ふれあい、友愛などを目的に毎年開催されているものです。

この日は、市内からグラウンドゴルフ愛好者など35団体約280人が参加。各ホールでは、ホールインワンが出ると歓声上がるなど、楽しくプレーしていました。



アイルランドの料理に挑戦

第12回世界のクッキング講座

第12回世界のクッキング講座(松浦市国際親善協会(高橋博之会長)主催)が3月13日、きらきら21で開催されました。

この日は、講師として市のALTのキーラ・ケレハー先生を招き、参加者11人がアイルランドの家庭で一般的に食べられているリークとポテトのスープ、シェパーズ・パイ、ガーリック・ブレッド、アップルとブルーベリーのクランブルの4品に挑戦。調理した後は、アイルランドの味をおいしくいただきました。



市の花「ツバキ」をPR

福島つばき祭り

第38回福島つばき祭り(松浦福島つばき会(佐木茂会長)主催)が3月5日、6日の両日、福島武道館と同武道館前お祭り広場で開催されました。

同祭りは、市の花「ツバキ」をPRしてまちおこしをしようと毎年開催されているものです。

この日は、ツバキの展示や苗の販売、小・中学生の絵画などの展示、つばき油の販売などを実施。同会の会員のほか、つばき娘の末竹静香さん(福島・端、19)と木寺萌美さん(福島・伊万里釜、16)も、来場者を笑顔で出迎えていました。



万が一の災害に備えて

少年消防クラブ合同研修会

少年消防クラブ合同研修会が3月6日、松浦市消防本部で行われました。

同研修会は、子どもたちから防火・防災の意識を養い、災害に直面したとき自分の命は自分で守ることができるように養成するために開催されたものです。

この日は、市内7クラブから約40人の子どもと8人の指導者が参加。市消防本部の職員などが説明や指導を行い、救助訓練見学、ロープ結索訓練、煙体験競技、水消火器訓練・競技、救急隊デモなどを行い、防災に対する知識を深めました。



施設なぐりミニコンサート

福島中学校音楽部が「善行児童生徒の表彰」を受賞し、

財団法人親和銀行ふるさと振興基金から助成を受ける。



Interview 福島中学校（音楽部）

福島中学校（萩原郁子校長）音楽部は、ボランティア精神を基盤に、平成20年度から老人ホームなど各施設でミニコンサートを開催して地域の人から喜ばれており、年々コンサートの要請が増加しています。このような活動が評価され、平成22年度に県教育会から「善行児童生徒の表彰」を東北地区で唯一受賞しました。

また3月10日には、親和銀行伊万里支店の推薦で、財団法人親和銀行ふるさと振興基金からバリトン・サキソフォン購入費の一部が助成されました。

助成を受けたこの日、同校音楽部の木寺天斗部長（当時2年生）に、受賞（助成）を受けた感想などを尋ねました。

Cこの人にLOSE UP!
まつうら
輝キラリ人

Q 受賞した感想は？

A 受賞の話を聞いたとき、うれしかったです。受賞したことで、これからも音楽部の活動を頑張ろうと思いました。

Q どういう活動をしていますか？

A 平成20年度から年に5〜6回、町内の老人福祉施設、保育所などでミニコンサートを実施。年に1回長崎県アンサンブルコンテストや佐世保市で行われるソロコンテストに出場しています。

Q バリトン・サキソフォンを購入する理由は？

A コンサートの曲を決めるとき、顧問の先生からバリトン・サキソ

フォンがあったらできる曲などがあると聞いていたので、あったらいいなと思っていました。

Q 今後の目標を教えてください。

A これからもコンサートを楽しみにしてくださる地域の方々のためにも音楽部の活動を頑張っていきたいと思っています。3年生が抜けると4人になるので新入部員も募集したいです。

Q （顧問の平川先生に）音楽部の活動目標は何ですか？

A 技能を高めるだけでなく、自分たちで司会・進行の企画から運営までを行うなど、コンサートを作り上げることによる成長と、人と接するチャンスを与えたいと思って活動しています。



◎ PROFILE

福島中学校音楽部(中央右側は親和銀行の田中幹人総合管理部長)部員は10人(うち6人が3月で卒業)。主な楽器は、アルト・サキソフォン、テナー・サキソフォン、ピアノの3種類。平日に1〜2時間、土曜日に半日、同校の音楽室で練習しています。



ハナ・レベッカ・コンクリン
Hana Rebecca Conklin
アメリカ合衆国出身

私は走ることが大好きです。とても単純なスポーツで、必要なものは、一足の靴と身体より強い心です。この心に「挑戦」があります。自分を支配できることで、どのランナーも爽快さを証明できます。そして私にとっては田舎の風景を見ながら長距離を走ることと平和な気持ちになり、慌ただしい日常とは違った落ち着きをもたらします。

過去にもたくさんレースにでたことがありますが、「駅伝」に参加したことはありませんでした。日本に来るまでは「駅伝」という名前すら聞いたことがありませんでした。ですから、星鹿小学校（私が毎週水曜日に教えている学校）から、チームへのお誘いがあった時はとても嬉しかったです。すぐに「ハイ」と答えました。そして、実際「駅伝」がどういうものなのか分かったのは、その後でした。

「駅伝」は私が経験したことがある数々のレースとは全く異なるものでした。なぜなら「駅伝」はチームの一員として走るからです。自分自身のためだけに走るのではなく、もし失敗した

ら、自分だけの失敗で済まなくなるのです。プレッシャーを感じますよね。加えて、足が速い男の人たちのチームの中で、私が一番走るのが遅いといえ、私がどのくらい不安だったか想像できるでしょう。

しかし、実際には「駅伝」はとっても楽しいものでした。チームのメンバーは親切で、辛抱強く私に接してくれました。そしてたくさんの人々が通りに出て、全てのランナーを応援してくれました（私たちは本当に感謝しています！）。私は今福小学校までの最終のコースを走りました。たくさんの生徒たち、先生方、そして友達が集まっている光景を見ることは本当に素晴らしいことでした。また参加することを楽しみにしています。そしてもっと速く走ろうと決心しました。このレースで最も良かったことは、年齢や職業や環境が違う多くの人々が日曜の朝に家から出て、自分たちの隣人や、子どもたち、まちの消防士や先生、市の職員を応援したこと。これが私にとって、「駅伝」の最高の部分だと思います。これこそ走ることの魔法です。



図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『逃げの一手』
まどみちお／著 小学館

そうさんそうさんおはながながいのね～♪誰もが知るこの歌。作者のまどみちおさんは2009年11月16日で100歳を迎えられました。世界の美しさに心を震わせ、喜び、嘆き、憤る。そして、自分を静かに見つめるまどさん100歳の詩集です。



『ぼくが一番望むこと』
マリイ・ブラッドビー／著 新日本出版社

字を理解する、本を読めるって当たり前？一人の少年が言いました。「字が読めるようになりたいんだ」、「本にはきっとすばらしい世界が隠されているにちがいない」。学ぶこと、知ることは果てしない希望へとつながります。字を読むことを当たり前にするために、人が努力したのはそんなに遠い事ではありません。4月23日は子ども読書の日、世界本と著作権の日です。

◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どものお気に入りの1冊を紹介します。



志佐町住吉通の橋本千佳さんと
壮くん(6歳)、快くん(4歳)

【お気に入りの本】

『恐竜トリケラトプスの大逆襲 - たたかう恐竜たち』
黒川みつひろ／作 小峰書店
『恐竜 - ニューワイド学研の図鑑』 学習研究社

【お母さんからひとこと】

「2人とも恐竜が大好きです。図書館の恐竜の本で色々なことを知ることができました。特に黒川みつひろさんの本は絵もきれいで内容もわかりやすいので子どもたちは大好きです。黒川みつひろさんの本が好きすぎて手紙を出し、黒川さんからイラスト入りのお返事をいただいたこともあります。2人が送った手紙に描いた壮のリトルホーンは、黒川さんのホームページに掲載していただき、2人とも喜んでます」

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館も大歓迎です！

このコーナーでは、この地域に伝わる民話を紹介し、皆さんからの感想画を募集しています。紹介する民話は、子どもたちに、ふるさとの伝説や昔話を教え、少しでも遠い祖先の心や、郷里の土地のぬくもりを感じてほしいと、松浦市教育委員会が平成4年に再編した「松浦の民話」という本から引用した話です。

今から千八百年ほど昔のお話です。そのころ、神功皇后は、妹の淀姫と一緒に、新羅の国（今の韓国）へわたろうと旅へ出られました。

お供の家来たちを連れて、野をこえ、山をこえ、やっと呼子の地へ着かれました。これからは、海をわたらなければなりません。皇后は淀姫をおよびに

松浦の民話⑬

よど ひめ さま 淀姫様

玄界灘のあらい波に、小船は木の葉のようにゆれ、みんなは、船底に生きた心地もなくしがみついています。やっと、波静かな松浦の入江について

たころは、もう、夕やみがあたりをとつぷりと包んでおりました。船よいで、ぐったりと船底にふせておられた淀姫は、やつとのごとで、砂浜の美しい大浜の地に下りられました。朝から飲まず食わずで、みんなつかれきっていました。と、りあえず、松のかれえだを集め、火をたいて、しぶきでぬれた衣をかわかっておりました。ちらちらもえる火は、向こう岸の貝ほり帰りの村人たちの目に止まりました。

「これから、わたしは、海をわたる丈夫な船と、この海になれた船頭たちを集めなければなりません。あなたは、その間に、松浦の地をたずねて、景行社へお参りをし、旅の安全をいのつてきてください。」と申されました。

そこで、淀姫は数人のお供を連れ、小船に乗って玄界灘を西へ向かわれました。 「何じゃるか、あの火は。」 「あやしかもんでも来たことじゃなかな。」 「あつ、そうか。近いうち、皇后様のお使いが、景行社に見えるということじゃったせん、その一行かもしれんばい。早う行ってみらんば…」

村人たちは、大急ぎでかけつけてきました。すると、お供の人たちに守られて、美しいお姫様がすわっておられました。金細工のくしやかんざしをつけ、金糸銀糸をおりませた衣を着けたお姫様は、村人たちを見ると、 「姉の使いで、景行社へお参りに来ました。案内をお願いします。」

と申されました。

でも、一行はひどくつかれておられるようでしたので、村人たちは、おそる、おそる、自分たちの持つていた、そごつの実で作ったおだんごをさし出しました。

「ごきやんぞまつかもんでよかつたら…」 「なんもおあがつておらんとでつしゅう。おあがりなさりませ。」

一行は、村人たちの温かいもてなしに感しやしながら、 「これはありがたい。」

と、おいしそうにお食べになりました。それから、村人の案内で一夜の宿をとり、よく朝、景行社へお参りされました。 やがて、皇后とともに呼子から新羅の国へわたられた淀姫は、無事に用事を終えてもどられると、再び松浦の地へよられました。この土地が大変気に入られた淀姫は、館を建て、村人たちと仲よくくらし、一生をこの地で送られました。

淀姫がなくなられた後、景行社あとに淀姫様をお祭りし、淀姫神社と呼ぶようになりました。

淀姫が、初めておだんごをお食べになった所は、膳崎（柏崎）という地名として残っています。

志佐宮日（ひ）は、この淀姫様のお祭りです。その日は今でも、村人がお団子を作って、お宮に供えるならわしが残っているそうです。（志佐町）

■あなたの力作を募集！

—民話の感想画募集—
上の民話を読んで感じた情景をイラストにして、必要事項を記入の上、左記まで持参、郵送またはメールにて送付してください。応募いただいたイラストは審査をし、上位のものを次の市報で紹介いたします。

【応募資格】住所、年齢、性別など何も問いません。どなたでも応募できます。

【イラストの規格】はがきまたはA4サイズ以内の紙に絵の具やクレパスなどで書いたカラーのもの（色鉛筆の場合は濃く塗ってください）。

【必要事項】住所、氏名（ふりがな）、電話番号、年齢、職業（学校名）

※掲載する場合、ペンネームを希望する人は、ペンネームもご記入ください。

※はがきで応募される人は、必要事項を表の下部に記載してください。

なお、いただいた個人情報（民話コーナー以外には使用しません）

【応募締切】4月12日（火）必着

【応募・問合せ先】

〒859-4598

松浦市志佐町里免365番地

松浦市まちづくり推進課

秘書広報係

☎0956-72-1111

Eメール=hsyo@city.matsura.jp

※福島支所、鷹島支所、そのほかの

各支所でも受け付けています。

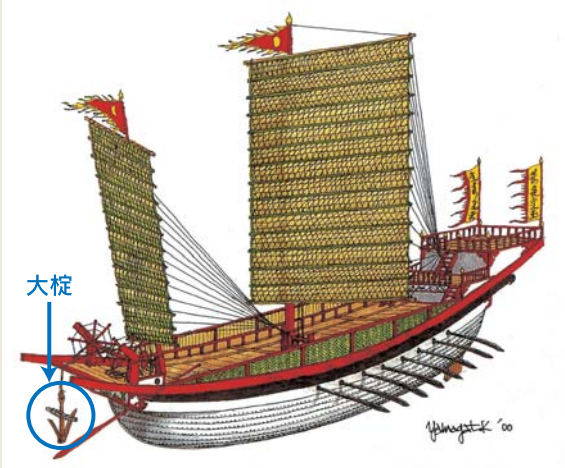
中世の松浦 (29) 鷹島海底遺跡

元軍は、弘安4年(1281年)に東路軍9百艘、江南軍3千5百艘の合わせて4千4百艘で日本を攻めにきています。この弘安の役では鷹島近海に集結していた多くの軍船が、閏7月1日の暴風雨で沈没したといわれています。

鷹島海底遺跡からは船を停めておくために海に投げ入れる重りに使用されていた大椀おおいが引き揚げられています。その木製大椀(3号椀)を復元すると全長が7尺ほどになります。

この復元された大椀をもとに日本海事学会の山形欣哉氏が元軍の戦艦を復元しています。その戦艦の全長は宋尺の126尺(約40尺)、幅は33・6尺(約10・7尺)、1艘当たりの乗員は90人弱としています。

鷹島海底遺跡から引き揚げた大椀は現在鷹島埋蔵文化財センターで展示公開しています。



▲復元された元軍の戦艦図 (山形欣哉作成)

松浦の民話イラスト

読者の皆さんから寄せられたイラストの審査結果を以下の通りお知らせします。

先月の民話「庄屋の忠犬」のイラストに、3通の応募がありました。ご応募ありがとうございました。



【最優秀賞】

長谷 陽南 (ひな) ちゃん (星鹿保育園、6) (左)
 湯高 拓真 (たくま) くん (星鹿保育園、6) (右)
 「ひとつの物語を2人で描いてくれました。2枚合わせると、物語が繋がって、とてもいい絵に仕上がっていますね。」(はま)

【優秀賞】

前田サツキさん
 (福島・日の浦、70)
 「毎月イラストを送っていた
 いただきありがとうございます。
 自分の犬を切ってしまった
 庄屋さんの後姿に、後悔の
 表情が見えるようです。」(はま)

5月9日 月

受付時間	場 所
9:30 ~ 10:00	北久保公民館
10:10 ~ 10:25	下田公民館
10:35 ~ 10:50	大石公民館
11:00 ~ 11:15	星鹿老人憩いの家
11:25 ~ 11:40	市場公民館
13:20 ~ 13:45	御厨公民館
13:55 ~ 14:10	前田公民館
14:20 ~ 14:35	大崎上公民館
14:45 ~ 15:00	小船公民館
15:10 ~ 15:20	川内公民館
15:30 ~ 16:00	西木場公民館

5月10日 火

受付時間	場 所
9:30 ~ 9:50	中野公民館
9:55 ~ 10:10	寺ノ尾中公民館
10:15 ~ 10:25	寺ノ尾上公民館
10:30 ~ 10:40	御厨木場公民館
10:45 ~ 10:55	田代営農センター
11:00 ~ 11:10	板橋公民館
11:25 ~ 11:30	郭公尾公民館
13:30 ~ 13:50	西山公民館
14:00 ~ 14:15	白浜公民館
14:25 ~ 14:50	中央診療所前
15:00 ~ 15:15	庄野公民館
15:25 ~ 15:45	栢木公民館

5月11日 水

受付時間	場 所
9:20 ~ 9:35	下高野公民館
9:40 ~ 9:55	上高野公民館
10:00 ~ 10:10	赤木公民館
10:20 ~ 10:35	横辺田公民館
10:45 ~ 11:00	田ノ平公民館
11:10 ~ 11:25	稗木場公民館
11:30 ~ 11:45	長野公民館
13:30 ~ 13:45	上志佐公民館
13:55 ~ 14:15	池成公民館
14:25 ~ 14:55	里公民館
15:05 ~ 15:40	愛光園前 (シルバー人材センター前)

5月12日 木

受付時間	場 所
9:30 ~ 9:45	雇尾バス停
9:55 ~ 10:10	仏坂公民館
10:20 ~ 10:35	坂野公民館
10:45 ~ 11:00	今福木場公民館
11:10 ~ 11:25	寺上公民館
11:35 ~ 12:00	今福高齢者コミセン
13:20 ~ 13:40	江迎公民館
13:55 ~ 14:10	滑栄公民館
14:20 ~ 14:35	土肥ノ浦バス停
14:45 ~ 15:00	浜ノ脇公民館
15:10 ~ 15:25	人柱神社前
15:35 ~ 15:50	福徳広場前

狂犬病予防注射は年1回接種することが定められています。市では毎年、市内各所で集団予防注射を実施しています。今年は表記の日程で実施しますので、都合のよい会場で注射を受けてください。

平成23年度犬の登録・狂犬病予防注射

今年も忘れずに

【予防注射の際に必要なもの】

- 1 畜犬登録料……………3,000円
(すでに登録済みの場合は不要)
- 2 狂犬病予防注射料……………2,500円
- 3 注射済票交付手数料……………550円

畜犬登録済みの場合は通知書(はがき)が届きますので、当日会場にご持参ください。



5月13日 金

受付時間	場 所
9:20 ~ 9:45	調川バス停横
9:50 ~ 10:05	前浜バス停前
10:15 ~ 10:30	平尾公民館
10:35 ~ 10:50	上平尾公民館
11:00 ~ 11:15	中免公民館
11:30 ~ 11:40	下免公民館
13:30 ~ 13:45	上免公民館
13:50 ~ 14:10	白井公民館
14:20 ~ 14:35	松山田公民館
14:45 ~ 15:00	大平公民館
15:10 ~ 15:25	調川公民館
15:35 ~ 16:20	市役所北玄関前

5月16日 月 【福島地区】

受付時間	場 所
9:00 ~ 9:25	伊万里釜会館
9:30 ~ 9:45	はりま釜集会所
9:50 ~ 10:15	ふくざき会館
10:20 ~ 10:30	平野地区集会所
10:40 ~ 11:00	浅谷集落センター
11:05 ~ 11:10	徳義バス停前
11:15 ~ 11:30	土谷公民館
11:35 ~ 11:50	原消防格納庫
13:00 ~ 13:15	鍋串公民館
13:25 ~ 13:45	里公民館入口
13:55 ~ 14:05	大山公民館
14:10 ~ 14:20	祝崎バス停前
14:25 ~ 14:35	白土公民館
14:40 ~ 14:50	初ノ浦旧消防車庫前
14:55 ~ 15:05	喜内瀬旧消防車庫前
15:15 ~ 15:25	東平集落センター
15:30 ~ 15:45	福島体育館前
15:50 ~ 16:05	福島支所前駐車場

5月17日 火 【鷹島地区】

受付時間	場 所
10:15 ~ 10:45	三里公民館
10:50 ~ 11:00	原公民館
11:10 ~ 11:25	神崎公民館
11:35 ~ 11:45	日比公民館
13:15 ~ 13:35	阿翁公民館
13:45 ~ 14:15	阿翁浦公民館
14:30 ~ 15:00	鷹島支所前

飼い犬の死亡、所有者の変更、住所の変更などがあった場合には届出が必要です。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

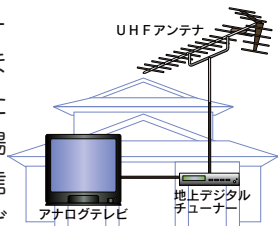
【問合せ先】

市民生活課生活環境係 ☎内線 142
 福島支所市民課☎内線 602-36
 鷹島支所市民課☎内線 603-14

もうすぐアナログテレビ放送が終了します！

アナログ放送は、7月24日正午から、ブルーバックの「お知らせ画面」に移行し、24時までにはすべての放送が終了（完全停波）します。それまでの間に、地上デジタル放送を視聴するための準備をしないとテレビを見ることができなくなります。

地上デジタル放送（地デジ）を視聴するためには、地デジ対応の受信機とUHFアンテナが必要です。受信機は、新たにデジタルテレビを購入するほか、アナログテレビに地デジ用チューナーを取り付ける方法もあります。UHFアンテナは、あらためて設置・調整などが必要な場合もありますので、まずは受信機の準備をして受信できるかどうかをお確かめください。



そのほか、ケーブルテレビに加入することにより視聴する方法もあります。

共同アンテナ施設でテレビをご覧の人は、デジタル化のための施設改修が必要です。まだ済んでいない場合には、それぞれの施設管理者に改修予定を確認してください。

アナログ放送終了時期が近づくに従い、アンテナの設置・調整などの工事が集中し、同日までに間に合わなくなる可能性がありますので、できる限り早めの対応をお願いします。

これらの地デジの準備に当たり、「何をすればよいか分からない」という人や「テレビを買ったのにデジタル放送を受信できない」という人には、デジサポ（総務省テレビ受信者支援センター）がお手伝いします。まずは、デジサポにお電話ください。

また、BSアナログ放送も7月24日に終了しますので、BSデジタル放送へ移行をお願いします。

《地デジ全般・難視聴に関する問合せ先》

○デジサポ・総務省テレビ受信者支援センター
<http://digisuppo.jp/>

デジサポ長崎 ☎ 095 - 804 - 5500

（平日午前9時～午後9時、土日祝は午後6時まで）

※地デジに関する市役所の窓口は「まちづくり推進課 情報推進係」です。どこに相談して良いか分からない場合や、市の施策に関することはこちらへどうぞ。



平成23年度 定住支援制度

〔問合せ先〕まちづくり推進課政策推進室 ☎内線305

市では、U・イーターン者の移住と新規学卒者の定住を奨励するため、「ふるさと就職奨励金」「賃貸住宅入居費補助金」「定住奨励金」の3つの制度を設けています。特に「ふるさと就職奨励金」は、就職から3カ月以内に市役所・各支所・出張所で登録の手続きが必要です。お早めに窓口までお越しください。

■ふるさと就職奨励金

U・イーターン者および新規学卒者の就職・市内居住を応援します！

【対象者】

- ・U・イーターン者（過去1年間に松浦市外に居住していた人）のうち転入から1年以内に就職した人
- ・松浦市民である新規学卒などのうち卒業から1年以内に就職した人

【交付要件】

- ・5年以上勤務を継続し、市内に居住すること
- ・採用時年齢が満45歳未満であること
- ・過去に松浦市後継者育成奨励金、または松浦市U・イーターン就職奨励金の交付を受けていないこと

【奨励金額】 30万円（5年間で分割交付）

【登録期限】 就職した日から3カ月以内

■賃貸住宅入居費補助金

アパート・一軒家などを借りて市内に移住するU・イーターン者を応援します！

【対象者】

平成21年4月1日以降に、転入と同時に賃貸住宅に入居した新規転入者（過去3年間にわたり松浦市外に居住していた人を含む）

【補助金額】

- （1）基本額 一世帯あたり10万円
 - （2）加算額 世帯員3人目から、1人あたり1万円を加算
- 【申請期限】 平成24年3月31日まで

■定住奨励金

土地や住宅を購入して、松浦市に移住・定住する人を応援します！

《住宅取得者Ⅱ新規転入者》

【対象者】 平成20年10月1日以降の新規転入者（過去3年間にわたり松浦市外に居住していた人を含む）で、住宅・宅地を取得した人

【奨励金額】

- （1）市内業者による新築
住宅取得費の7%（上限100万円）
+ 世帯員1人あたり5万円
- （2）市外業者による新築
土地取得費の10%（上限50万円）
+ 住宅取得費などへの助成はありません
- （3）中古住宅取得
住宅・宅地取得費の4%（上限40万円）
+ 世帯員1人あたり5万円

《住宅取得者Ⅰ市内在住者》

【対象者】 松浦市内在住者で、平成20年10月1日以降に新たに住宅・宅地を取得した人（増改築は除く）

【奨励金額】

- （1）市内業者による新築
住宅取得費の4%（上限60万円）
+ 土地取得費の10%（上限50万円）
 - （2）市外業者による新築
土地取得費の10%（上限50万円）
+ 住宅取得費などへの助成はありません
 - （3）中古住宅取得
住宅・宅地取得費の3%（上限30万円）
- 【申請期限】 平成24年3月31日まで

市役所からのお知らせ

パスポート申請の受付開始

問合せ先 市民生活課住民・年金係
☎ 内線 124、144

4月1日から市役所本庁でパスポートの申請受付と交付を開始します。申請できる人は、原則として市内に住民登録をしている人です。

県北保健所（平戸市田平町）の受付窓口は3月末で閉鎖されました。詳しくは、右記までお問い合わせください。

【受付時間】月曜日から金曜日（祝休日は除く）午前9時から午後5時まで
【申請書設置場所】市民生活課住民・年金係および市役所各支所・出張所
【申請受付・交付場所】市民生活課住民・年金係

認定司法書士無料相談会

予約・問合せ先 総務課行政係
☎ 内線 321

法務大臣の認定を受けた認定司法書士が身近な法律家として市民に貢献するため、次の通り相談会を実施します。相談する人は、事前に電話で予約してください。

【日時】4月14日（木）午後1時～4時30分
【場所】市役所別館消費生活相談室
【主催】長崎県司法書士会



あなたの健康お手伝いします

高齢者が安心して生活するために ～高齢者虐待について～

高齢者虐待には、高齢者の家族などによって行われる虐待と介護施設従事者などによる虐待があります。

【高齢者虐待の種類】

- ① 心理的虐待 威圧的な言葉や態度で脅す、無視、嫌がらせにより精神的な苦痛を与えること
- ② 世話の放棄 水分や食事の提供、入浴などの世話を放棄すること
- ③ 身体的虐待 暴力行為、外部との接触を意図的にさせない、わざと薬を多く与えるなどの行為
- ④ 経済的虐待 本人にとって必要な金銭を渡さない。本人の財産やお金を合意なしに使用する
- ⑤ 性的虐待 本人の嫌がる性的な行為やその強要を行うこと

【発生の要因】

- 高齢者が身の回りのことができなくなる。⇒ 介護疲れやストレス
 - 介護の協力者・相談者がいない。⇒ 孤独な介護
 - 高齢者の年金収入で生活している。⇒ 経済的な依存
- 高齢者虐待は誰にでも起こりうる問題です。身近な高齢者の状況に心を配り、何か気付いたら電話でかまいませんのでご相談ください（秘密は守られます）。
- 介護負担が重いと感じている家族からの相談も受け付けています。

【高齢者虐待および高齢者総合相談窓口】

- ◆ 市内全域：松浦市地域包括支援センター
☎ 0956-72-1111 内線 176、177
- ◆ 福島地域：松浦市福島保健センター ☎ 0955-41-3005
- ◆ 鷹島地域：鷹島支所 ☎ 0955-48-3111 内線 15



お家の「困った」に電話1本で 飛んで行くのがグッド・ハウスです

① 水・お湯のトラブル
② 天井・壁からの雨漏り
③ ガラスの交換、建具の調整

こんな時、
とりあえず
お電話下さい!

お家に関するご相談は **tel.0956-72-3718**

株式会社グッド・ハウス 〒859-4502 長崎県松浦市志佐町里免315-4 ☐ good@alpha.ocn.ne.jp



市税などの支払いは
口座振替が便利です

問合せ先 税務課管理係
☎内線 116

市税などの支払いは、納めに向かう手間が省け、納め忘れもなくなる口座振替をご利用ください。

既に口座振替にしている市税などのほかに、新たに口座振替にする対象を増やす場合も申し込みが必要です。

【対象】市県民税（普通徴収のみ）、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、保育料、水道使用料、住宅使用料、介護保険料、後期高齢者医療保険料

【申込方法】通帳、印鑑（届出印）を持参し、取扱金融機関窓口で申し込んでください。口座振替依頼書（申込書）は、市内の各金融機関に備え付けています。市外在住の納税義務者で申込用紙が必要な人は、郵送しますので問い合わせください。

【取扱金融機関】親和銀行、十八銀行、佐賀銀行、ながさき西海農業協同組合、新松浦漁業協同組合、九州労働金庫、ゆうちょ銀行

【口座振替日】納期月の25日（土、日、祝日の場合は翌営業日）。残高不足などで振替ができなかった場合は、翌月9日（土、日、祝日の場合は、翌営業日）に再度振り替えます。その際は、再振替通知を送付します。

4月から乳幼児医療費助成制度が変わります！

○問合せ先 子育て・こども課 ☎内線 171

小学校就学前の乳幼児について、4月1日診療分から医療機関窓口での支払いが軽減されます。

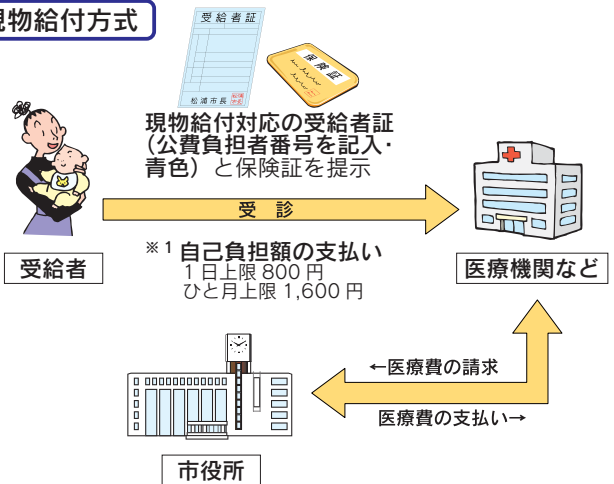
現物給付対応の受給者証と保険証を医療機関窓口で提示することで、※1 自己負担額までの支払いで済むようになります。調剤薬局については、自己負担はありません。

この受給者証は、県内の医療機関および調剤薬局で使用することができますので、受付の際、医療機関の窓口で、必ず提示してください（一部対応できない医療機関もあります）。

県外の医療機関については、従来通り償還払いとなります。なお、伊万里市、唐津市については、医療機関によって現物給付に対応している場合もあるので、受診の際にご確認ください。

※3月31日以前の乳幼児医療費については、従来通り市へ給付申請することができます。

現物給付方式



対象

市内在住で健康保険に加入している小学校就学前の乳幼児
※現在受給資格のある人には、3月末に公費負担者番号が記載された新しい受給者証を個別通知していますので特別な手続きは不要です（現在受給者証を取得していない人は事前に登録手続きが必要です）。

車検 45分 スピーディー車検 105項目の安心点検!!

軽自動車	小型自動車	中型自動車	大型自動車
9,800円	9,800円	9,800円	9,800円
消費税 490円			
登録代行料	無料!!		
法定費用	30,670円	46,050円	56,050円
合計	40,960円	56,340円	66,340円

合計で 6円/0引 (※2011年)

オイル交換 永久無料

ピットブラザーズ 204号線・平戸大橋すぐそば
平戸市田平町小手田 1255-1
(有)ニシ・マイカーセンター 営業時間/午前9時~午後8時
☎0120-751-741 年中無休

新設 耳鼻いんこう科・アレルギー科

幸せ、それは健康
医療法人 陽迎堂 **武部病院**

平成23年4月1日より下記のとおり診療いたします

診療時間	月	火	水	木	金	土
外科・内科・整形外科・リハビリテーション科	8:30~12:30	○	○	○	休診	○
脳神経外科	8:30~12:30	○	○	○	○	○
耳鼻いんこう科・アレルギー科	8:30~12:30	○	○	○	休診	○
	13:30~17:30	○	○	○	休診	○

併設: 通所リハビリテーション(デイケア)、グループホーム(だけべ)

松浦市今福町北免2091番地1 ☎電話: 0956-74-0007
駐車場: 15台可

ホームページ: 武部病院、松浦市 検索 でクリック

松浦市安全・安心 住まいづくり支援事業

問合せ先 都市計画課建築係

☎ 内線 207、233

木造住宅の耐震診断に対する助成並びに耐震改修計画作成および耐震改修工事に対する補助を行う「松浦市安全・安心住まいづくり支援事業」を実施します。

①耐震診断

【助成の条件】松浦市安全・安心住まいづくり支援事業実施規則に定めるもの。その主なものは次の通りです。

- (1) 戸建て木造住宅（所有者が居住するものに限る）であること
- (2) 昭和56年5月31日以前に建築確認を受けた住宅（旧基準木造住宅）またはそれに準ずる住宅であること
- (3) 所有者が、市税を滞納していないこと

【助成の内容】耐震診断費4万5千円のうち、3万円を助成します。

②耐震改修計画作成

【補助の対象となる住宅】①の耐震診断の結果、耐震基準に適合しないと診断された住宅

【補助の内容】耐震改修計画作成費用の2/3（上限7万円）

【申請方法】支援を希望する人は、右記に申請してください（①および②を、同時に申請してください）。

【申請期間】4月1日～9月30日

③耐震改修工事

【補助の対象となる住宅】旧基準木造住宅などのうち耐震診断の結果、耐震基準に適合しないと診断された住宅（耐震改修計画を作成する必要があります）

【補助の内容】耐震改修工事費の1/2の額（上限60万円）

民間建築物吹付けアスベスト改修支援事業

問合せ先 都市計画課建築係

☎ 内線 207、233

多数の人が利用する民間建築物のアスベストの分析調査に対する補助を行う「松浦市民間建築物吹付けアスベスト改修支援事業」を実施します。

【補助の対象】本市の区域内に存する多数の人が利用する民間建築物で、多数の人が共同で利用する部分のアスベストの分析調査

【補助の内容】分析調査費用の10/10（千円未満切捨て、上限25万円）

【申請方法】支援を希望する人は、上記に申請してください。

【申請期間】4月1日～9月30日
本申請 国の交付決定後に申請していただきます。

【事前申請期間】4月1日～9月30日

【事前申請】国の交付決定後に申請していただきます。

松浦市民間建築物耐震化支援事業

○問合せ先 都市計画課建築係 ☎ 内線 207、233

民間特定建築物の耐震診断に対する補助を行う「松浦市民間建築物耐震化支援事業」を実施します。

(1) 補助の対象となる建築物

本市の区域内に存する民間特定建築物で、昭和56年5月31日以前に建築確認を受けて建築された建築物

(2) 補助対象者

(ア) 耐震診断を実施しようとする上記の民間特定建築物の所有者、管理者など

(イ) 市税を滞納していない人

(3) 補助の内容

耐震診断に要した費用の2/3
(千円未満切捨て、上限160万円)

【申請方法】

支援を希望する人は、上記に申請してください。

①事前申請期間 4月1日～9月30日

②本申請

国の交付決定後に申請していただきます。

任意整理・過払金返還請求!

消費者金融等と約10年以上の取引がある方・
消費者金融等の借金を完済した方は

相談無料

秘密厳守

完済した方は自己負担金ゼロ!

取り戻した過払金の中から成功報酬をいただくのみです。
詳しくはお電話、またはブログをご覧ください。

<http://fukuda-hiroshi.seesaa.net/>



要電話予約

☎ 0954-27-8056

受付/ (月～金) 9:00～12:00 13:00～18:00

佐賀県武雄市武雄町大字武雄5650-26



西九州総合法律事務所

佐賀県弁護士会所属

弁護士 福田 大志

行政相談所

問合せ先 総務課行政係

☎内線 321

市役所や国、県などの機関が行っている仕事について、意見や苦情、要望などはありませんか。次の通り行政相談所を開設しますので、気軽にご相談ください。

【日時】4月14日(木)午前10時～午後4時

【場所】市役所別館多目的相談室

【行政相談委員(敬称略)】

川畑喜久雄 ☎0956-75-0724
青木サチ ☎0956-74-0456

原材料を支給します

申込・問合せ先 建設課管理係

☎内線 202

住みやすい環境整備のため生活道路の整備に対して原材料を支給しています。整備計画のある地区は、市政嘱託員を通じて申請してください。
【対象となる道路】4戸以上が利用する総延長30m以上、幅員1m以上の生活道路。
【支給範囲】生活道路の改修舗装並びに路肩の補修、側溝整備。

【支給原材料】生コンクリート、砕石、コンクリート2次製品(例：U字溝)など。

【原材料の支給率】市が必要と認めた量の7割(3割は申請者負担)。

【申請期間】4月1日(金)～7月29日(金)

固定資産税縦覧帳簿の縦覧

○問合せ先 税務課固定資産税係 ☎内線 111、112

平成23年度固定資産税縦覧帳簿の縦覧が4月1日から始まりました。縦覧とは、固定資産税の納税義務者が所有する土地・家屋の評価額と近隣の土地・家屋の評価額を比較して価格が適正であるかを、縦覧帳簿により確認していただく制度です。

【縦覧帳簿の内容】土地価格等縦覧帳簿には、所在地、地目、地積および価格を記載しています。家屋価格等縦覧帳簿には、所在地、家屋番号、種類、構造、床面積および価格を記載しています。

【縦覧できる人】土地価格等縦覧帳簿は、市内に土地を所有している固定資産税の納税義務者が縦覧できます(家屋のみの納税義務者は、縦覧できません)。家屋価格等縦覧帳簿は、市内に家屋を所有している固定資産税の納税義務者が縦覧できます(土地のみの納税義務者は、縦覧できません)。

※資産を持っていても、免税点により固定資産税が課税されていない人は縦覧できません。

【縦覧の期間】4月1日(金)～5月2日(月)
(ただし、土・日・祝日は除く)午前8時30分～午後5時15分

【縦覧場所】市税務課、福島支所、鷹島支所

【その他】手数料は無料です。

目的外の使用がないように縦覧帳簿のコピーの交付は行いません。

なお、資産確認のため名寄帳の交付を受ける人は、本人確認のため、運転免許証など、官公署発行の顔写真付き本人確認書類が必要です(代理人の場合は、委任状と代理人の本人確認書類が必要です)。

春の農作業安全運動月間

○問合せ先 農林課 ☎内線 227

春は、農作業が増えてくるとともに、農業機械を操作する機会も増え、作業中の事故が発生しやすくなります。

毎年、全国で400人近い尊い命が農作業による事故で失われており、今年春の農作業安全運動の重点事項は、「乗用型トラクターの事故防止」と「万が一の事故に備えた労災保険の加入促進」となっています。

次のことに気を付けて、安全作業に務めましょう。



- ①安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルトの着用を徹底しましょう。
- ②作業環境を確認し、危険性に配慮しましょう。
- ③ほ場を出る際のブレーキペダルの連結を確認しましょう。

新年度生募集

ただいま、新年度生
無料体験授業を受付中!!

秀明館 東進衛星予備校

松浦市志佐町里免343-1 川原ビル2F
(市役所前・親和銀行横)

お申し込みは

0120-0120-394-106
TEL 0956-72-1158

小学生・中学生 志佐校 松浦市志佐町里免343-1
御厨校 松浦市御厨町里免960-1

高校生 東進予備校松浦校
松浦市志佐町里免343-1

その他のお知らせ

第19回松浦市バドミントン協会 会長杯

問合せ先 川本
☎09567470313
FAX 0956740347

【日時】 5月1日(日) 午前9時～

【会場】 松浦スポーツセンター

【出場資格】 市内在住者またはクラブ所属者(そのほか理事会が承認する人)で登録者 ※未登録者の登録は、当日受け付けます(登録費500円)。

【種目】 ダブルス、クラス別(A・B・C) ※前回優勝者(B・C)は1クラス上で申し込んでください。

【参加費】 登録者1,000円、高校生 500円

長崎県健康づくり応援の店募集!

○問合せ先 県北保健所健康対策班
☎0950-57-3933

県では、住民の皆さんの健康づくりの役に立つよう、次の4項目の取り組みを推進する飲食店や惣菜店、食事提供施設などを募集しています。

- ①メニュー栄養成分表示 (主要メニューにエネルギー、脂質、塩分の栄養成分表示や食事バランスガイドの表示をします)
- ②ヘルシーメニューの提供 (不足しがちな栄養素を補給するメニューや、過剰になりがちなエネルギーを控えたメニューを提供します)
- ③ヘルシーオーダー (エネルギーを抑えたオーダーや、アレルギーの原因となる食材を変更したり削除したりできるオーダーが可能)
- ④たばこ対策 (店内が全面禁煙もしくは完全分煙の設備がある)

この活動を実践される施設は『健康づくり応援の店』として登録されます。登録は無料で『健康づくり応援の店』にはステッカーが交付され、県のホームページやパンフレットでも紹介されます。ご協力をお願いします。

【申込方法】 各クラブ集約の上、郵送またはFAXで申し込んでください。
【申込先】 〒859-4521
松浦市今福町北免
2009-591
川本 明美

【申込期限】
4月22日(金)



法律相談センター

予約・問合せ先 長崎県弁護士会佐世保支部
☎09561229404

長崎県弁護士会による法律相談センターを次の通り開設します。相談する人は、事前に電話で予約してください。

【日時】 4月22日(金) 午後1時～4時

【場所】 文化会館

【料金】 30分ごとに5,000円

予防接種

○問合せ先 子育て・こども課 ☎内線 146

【子宮頸がん予防ワクチン】

平成23年度から下記対象者に対し、当予防ワクチン接種を無料で実施する予定ですが、ワクチン供給不足により当分の間初回接種者への接種を差し控えることとなりました。

今後の接種開始時期や実施についての詳しい内容は、個別通知により対象者へお知らせします。

○対象者

中学1年生から高校2年生の年齢に相当する女子



【小児用肺炎球菌ワクチンおよびヒブワクチン】

当ワクチン接種は、平成23年3月の同時接種後の死亡報告により接種を一時的に見合わせています。実施が決まり次第、対象者へ個別通知をする予定です。

第15回 不老山花と光のフェスタ

期間 4月16日(土)～5月5日(木)

約11万本のつつじが咲き誇る不老山総合公園で楽しいひとときを過ごしてみませんか?

イベントデー 4月23日(土) ※雨天時 30日(土)
4月24日(日) ※雨天時 29日(金)

23日(土)

○グラウンド・ゴルフ大会 (グラウンド・ゴルフ協会主催)

【申込締切】 4月12日(火)

【参加費】 1人500円

【申込・問合せ先】

グラウンド・ゴルフ協会 事務局
高田 愛子 ☎0956-72-0364

24日(日)

○ステージイベント (YOSAKOIダンス、大抽選会など)

- スケッチ大会
- ウォークラリー大会
- お楽しみミニゲーム
- 体験コーナー など

【問合せ先】 まつり実行委員会 (市観光物産課内) ☎内線 271



※イベントデーは、「東北地方太平洋沖地震」災害義援金箱を設置しますので、ご協力をお願いします。

温かい心ありがとうございます

一般寄付

- 松浦市へ金一封
- 在京・長崎県福島会
- 会長 田中徳治様(埼玉県さいたま市)
- 今福中学校へ依みこし・太鼓
- 県立松浦東高等学校様
- 田代小学校へ金一封・卒業生への記念品
- 白石ユス子様(愛知県稲沢市)
- 松浦市社会福祉協議会福島支所へ金一封
- 優愛の会
- 代表 永田俊子様(福島・福島)
- 松浦市社会福祉協議会へ金一封
- 【本所】
- 浅岡 セツ様(御厨・池田)
- 亡夫 新次郎様
- 坂井ユリ代様(志佐・不老山)
- 亡夫 政彦様
- 山口キヌ子様(志佐・白浜)
- 亡夫 昇様
- 松添 信明様(志佐・旭町)
- 亡母 ミツエ様
- 小澤 照太様(志佐・栢ノ木)
- 亡母 ヨシ様
- 【福島支所】
- 横山 利夫様(福島・里)
- 亡妻 フジノ様
- 戸石川正徳様(福島・浅谷)
- 亡母 八重様
- 大串 信一様(福島・原)
- 亡叔母 大串 マセヨ様
- 【鷹島支所】
- 廣山 徳幸様(鷹島・三里)
- 亡父 徳則様

香典返し、忌明け、寄付

- 御厨・星鹿地区社会福祉協議会へ金一封
- 明松あや子様(御厨・池田上)
- 亡伯母 川上 ミカ様
- 志佐地区社会福祉協議会へ金一封
- 栢野 康子様(志佐・岸浜)
- 亡母 サチ子様
- 調川地区社会福祉協議会へ金一封
- 吉元 芳枝様(調川・平尾)
- 亡夫 満雄様
- 大坪 康男様(調川・七区ノ二)
- 亡妻 ユキ子様
- 熊本 恵様
- 亡母 テル子様
- 今福地区社会福祉協議会へ金一封
- 坂本 清子様(今福・仏坂)
- 亡夫 富男様
- 坂本 光也様(今福・北東一)
- 亡母 マチエ様
- 倉持 正行様(今福・滑栄)
- 亡妻 三重様
- 東北地方太平洋沖地震被災地支援のため
義援金・救援物資を受け付けています
- 問合せ先 福祉事務所
☎内線153
- 【義援金・救援物資受付場所】
- 福祉事務所、各支所、各出張所
- 星鹿公民館、市立図書館(義援金のみ)
- ※救援物資は、保存食・水・毛布
など種類を限定しています。
- 【受付時間】
- 平日午前8時30分～午後5時15分
- ※福祉事務所、福島支所、鷹島支所
では、土、日、祝日も受け付けます
- (ただし、福島支所は救援物資のみ)
- 【受付期限】 4月22日(金)

消防だより

【問合せ先】松浦市消防本部 ☎0956-72-1211

救急出場件数が増加しています。
真に緊急を要する人のために、救急車の適正な利用をお願いします。

- ・タクシー代わりに救急車を常用することは控えてください。
- ・救急車以外に搬送の手段がなく、緊急に医療機関などに搬送しなければならない場合は、迷わずすぐに救急車を要請してください。
- ・病院に連れて行きたいが、どこの病院に連れて行けばよいかわからない時は、松浦市消防本部医療機関案内電話(☎0956-72-4199)までお問い合わせください。



戸籍だより

2月14日～3月15日届出(敬称略) ※希望者のみ掲載

結婚おめでとう

- 金山 耕平 長野岡谷市
- (原田) 真希 今福・今福団地
- 奥野 猶興 星鹿・川原辺田
- (吉田) 恵美 佐世保市
- 杉本 敬広 志佐・高野定促
- (横山) 真美 平戸市
- 吉福 護 星鹿・大石
- (出口) 玲菜 佐世保市
- 宮木 悠剛 志佐・池成
- (前田) 美樹 御厨・池田上
- 田口 泰二郎 志佐・西山
- (高野) 紗和子 御厨・大崎上

お誕生おめでとう

- 真田来玲菜(芳典) 今福・人柱
- 久保川沙優(洋平) 調川・調川定促
- 豊川 文菜(剛) 福島・里
- 酒井 笑菜(直人) 志佐・辻ノ尾
- 太田 喬哉(弘章) 福島・播磨釜
- 山崎 慶輔(卓) 志佐・大浜西
- 岡本 紗菜(隆則) 調川・調川定促
- 福浦 萌衣(博義) 今福・北東1
- 藤崎 剛史(猛) 今福・北東3
- 大畑 惺子(健) 志佐・大浜西
- 山下 優空(歩吹) 鷹島・殿ノ浦
- 田中 麗彩(洋平) 福島・端

- 小熊 優羽(義和) 今福・北東3
- 立石 百桃(洋万) 調川・七区ノ二
- 岡本 龍樹(幸則) 志佐・庄野
- 川上 愛妃(元) 今福・元町
- 末武 叶夢(幸洋) 御厨・大崎上

ご冥福をお祈りいたします

- 大串マセヨ(88歳) 福島いろは島荘
- 立石 一夫(81歳) 星鹿・北久保
- 吉井 三雄(62歳) 今福・仏坂
- 横尾ナツ子(85歳) 志佐・上町
- 関 豊茂(81歳) 星鹿・川原辺田
- 川上 ミカ(86歳) 御厨・池田上
- 松本ヒサ子(92歳) 調川・下免
- 内野 蓮光(0歳) 志佐・黒汐
- 藤村ヤエノ(98歳) 志佐・蟹子崎団地
- 倉持 三重(81歳) 今福・滑栄
- 田中 育男(69歳) 今福・仲町
- 久家 榮(85歳) 星鹿・川原辺田
- 小森ヤエノ(79歳) 御厨・西木場
- 早田登美子(100歳) 今福・栄町
- 石本イシノ(88歳) 星鹿・星鹿
- 吉澤 綾子(74歳) 鷹島・阿翁浦
- 田中マスエ(75歳) 志佐・里1
- 山田 辰男(82歳) 志佐・西山
- 田中アサ子(94歳) 調川・七区ノ一
- 野口 重利(79歳) 今福・人柱
- 佐藤 末子(83歳) 志佐・不老山



市報 まつうら
平成23年4月1日発行
No. 64

編集発行／松浦市まちづくり推進課秘書広報係
〒859-4598 長崎県松浦市志佐町里免365番地
福島町からは47-3011
ホームページアドレス <http://www.city-matsura.jp>

0956-72-1111 FAX 72-1115
鷹島町からは48-3011
Eメールアドレス matsura@city-matsura.jp
印刷／有限会社タイセイ印刷

PROFILE

ともこ
國安 智子 さん (写真中央)
調川町江口2に住む46歳。
趣味は25年続けているダンス
と写真撮影。



■今月の表紙

3月6日に松浦東高等学校で行われた卒業証書授与式および閉校記念式典。厳かな雰囲気の中、式は粛々と進みました。閉校式での校歌斉唱では、卒業生、保護者、教職員、同窓生など式に参加した皆さんが心を込めて歌っている姿が印象的でした。

※次は、川浪敦子さん(志佐・田原)にバトンタッチ!

○目標・夢

志佐小学校で用務員をしています。子どもたちの元気な声に励まされ、校舎内外の環境整備や印刷作業など、毎日楽しく仕事をしています。年に一度「よきこい伝道師」として、子どもたちと踊ることもあります。

○職業・仕事内容

心と体がリズムを刻み続ける限り、ダンスを続けたいです。4月3日に文化会館でダンス発表会を開き、踊りでかかわった団体を招き、子どもから大人まで楽しみ、にぎやかな発表会となりました。一緒にダンスをする仲間を募集中です。

もうひとつの趣味の写真では、風光明媚な松浦の写真を取り、全国に「ふるさと松浦」をアピールできるというなあと思っています。

■人の動き

※ () は、前月との比較

人口	25,667
	(-23)
男	12,292
	(+3)
女	13,375
	(-26)
世帯数	10,278
	(-6)

住民基本台帳から

平成23年3月1日現在

■編集室から

今月号の特集取材で「松浦東高校」の卒業証書授与式、閉校記念式典の取材に行きました。

式の中で、卒業生の言葉の中に「学校はなくなりませんが私たちの心の中に存在し続けます」という言葉が心に残りました。卒業は終わりではなく、次のステップへの通過点です。将来、卒業生たちが東高の卒業生という思いを胸に、各分野で活躍してくれることを期待しています。

今月号をもって「かも」広報担当を卒業し、異動することになりました。これまで4年間取材などで市民の皆さんには大変お世話になりました。これからも「市報まつうら」をよろしく願います。



イラスト (健)

長崎 **がんばらんば** 国体 2014

第69回国民体育大会 君の夢 はばたけ今 ながさきから

松浦市は「なぎなた競技」の開催地です。



この広報紙は環境と自然保護のため再生紙(100%)を使用しています。